



砺波総合病院から

市立砺波総合病院 ☎32-3320

病院のホームページもご覧ください。



がん相談支援センターの活動のお知らせ



がん診療連携拠点病院について

全国どこでも質の高い、「がん医療」が受けられるようにする目的で、がん対策基本法という法律が平成17年に制定されました。その法律に基づいて、厚生労働省が指定する病院です。

県内では、7病院があります。

当院は、厚生労働省の指定を受け、主に砺波医療圏のがん医療に取り組んでいるほか、がん診療連携拠点病院では、手術・抗がん剤治療・放射線治療、がん医療に従事する医師などの育成、地域の医療機関への診療支援など、患者さんや家族、地域住民の方々などの不安や疑問に答える相談窓口として「がん相談支援センター」を設置しています。

※7つのがん診療連携拠点病院

富山県立中央病院、黒部市民病院、富山労災病院、富山大学附属病院、厚生連高岡病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院

がん相談支援センターについて

国立がん研究センターで「がん相

談の専門研修」を受けた、看護師、社会福祉士がご相談に応じます。相談内容によっては、医師、臨床心理士、薬剤師、管理栄養士とも連携します。

●相談内容……病気にともなう不安や悩みの相談

●病気に伴って様々な問題が出てくる場合があります。相談センターで十分に対応させていただけること、また、対応出来ないこともあります。が、ご相談いただいた上で問題の整理のお手伝いが出るものと考えております。どうぞお気軽にご連絡ください。

●料金無料で相談内容は守秘します。

がん相談支援センターでの相談内容(例)

●**「がんと言われて頭の中が真っ白!!」**
……がんとわかった時、病状の説明を受けた時、治療の経過や治療後の生活など、これからのことを考えて不安になるとき、相談員は時間をかけて話をお聞きいたします。
●**「治療は今のままで良いのかな?」**
……まず、主治医や看護師に率直な気



持ちを伝えて相談しましょう。主治医以外の医師に意見を聞く「セカンドオピニオン(有料)」という制度もあります。

●**「仕事が続けられるか心配……」**外来でも可能な治療が出来ないか主治医と相談したり、仕事の負担軽減・休暇制度の利用の検討などを言め相談員と共に情報を整理して検討します。
●**「治療費が心配……」**医療費自己負担の上限などの制度がありますので相談員にお聞きください。

●**「同じ経験をもつ患者さんの話を聞きたい……」**患者さん同士が語り合う場、支えあいの場として「患者サロン」があります。定期的に開催していますので相談員にお問合せください。

●**「がんの痛みを和らげながら自宅で過ごしたい……」**自宅療養する場合でも、かかりつけ医・訪問看護師・薬剤師などが定期的に訪問することで痛みを和らげながら療養を続けることも可能です。現在治療を受けておられる病院の主治医や看護師、相談員に一度ご相談ください。がんの場合は、40歳以上の方は、介護保険のサービスの利用も可能です。

●**「県内のがん診療連携拠点病院には、がん相談の主な内容や各拠点病院で行っているがん相談について簡単にまとめた、『がん情報とやま』がんになったら知っておきたいこと』という小冊子がおいてありますのでご覧いただければお役に立つと思います。」**

●がん相談支援センターは、県内の各がん診療連携拠点病院のほか、富山市には、富山県総合福祉会館(サンシップとやま)内に富山県がん総合相談支援センターが設けられています。ここでもがんに関する様々な相談に対応しています。(URL: <http://www.toyama-shakyo.or.jp/gan-soudan/>)

がん相談支援センター 市民公開講座

「砺波総合病院の放射線治療とこころのケアを知ろう」

9月24日(日) 午後1時30分~3時

砺波市出町子供歌舞伎曳山会館 多目的ホール

- ・ 当院のあたらしい放射線治療装置
放射線治療専門医師 西嶋博司
- ・ 相談支援センターの相談内容と患者サロンについて
がん看護専門看護師 平 優子
- ・ 緩和ケア病床と緩和ケア外来の紹介
緩和ケア認定看護師 高島留美

当日は、病院で相談に当たっている、看護師や社会福祉士が説明を行います。疑問にお答えいたしますので多くの方にご参加いただけますようお願いいたします。